

平成27年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立楠見小学校
作成日	平成27年 3月2日

正しい人権意識や、豊かな心をもち、自ら考え実践するたくましい子どもを育てる。

2 学校の自己評価についてのご意見

	家庭・地域との連携を深める	人に優しい子どもを育てる	基礎学力の定着を図る
重点目標に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各種のアンケートや調査などで保護者の意見を聞くことは大切だと思う。この学校関係者評価委員会での意見も参考にして、よりよい学校づくりを目指してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者へのアンケートの結果を見ると、「学校はいじめをなくす学校・学級づくりに取り組んでいる」と答えた割合が昨年度から5ポイント増えている。さらに、人権教育、道徳教育を充実させていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の調査結果をきちんと分析し、子どもたちの実態をしっかり把握した上で、取り組みを進めていってほしい。
取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校からは、毎月いろいろな便りが届けられ、学校の取組や子どもたちの活動の様子が伝わってくる。 ○ 基本的な生活習慣を身に付けるためには保護者の役割が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの来校する機会を捉えての会議等は有効であり、専門家の意見を大切に今後も組織的な対応を心がけてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 無解答率が高いことが気になる。最後まで諦めずに取り組むことの大切さを低学年から指導してほしい。
検証結果に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活習慣の形成が最も重要である。生活点検から見られる課題を学校、家庭、地域が共有することが大切で、その方法を工夫してほしい。 ○ 学校と地域との連携の柱は、「子育て支援ネットワーク楠見」の活動である。見回り隊の皆さんの活動に心から御礼を言いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団登校の様子を見てみると、高学年の子どもが低学年を前後に挟むようにして登校している。しかし、1人でくる子もいる。 ○ 高学年が率先して元気のいい挨拶ができるように、あいさつ運動等指導を続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭においても学習の習慣づけを低学年からきちんとしておくことが大切である。
改善方法に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校へ出向いてもいい機会を知らせてほしい。11月の開放月間だけでなく他の月の行事についても出席可能な行事は声をかけてほしい。 ○ 子育て支援ネットワーク楠見の方々を学校へお招きし、感謝する機会をぜひ続けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ これからも「優しい子」の育成に組織的、継続的に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちにとって分かりやすい授業を目指して、先生も頑張ってもらいたい。 ○ 地域に根ざした授業(校区探検)はこれからも続けてほしい。

3 その他のご意見

避難訓練が訓練としての訓練になっていないか、いろいろな状況の中で、子どもが判断して安全に避難できるように、訓練しなければならない。
生活点検より、朝食を食べない子どもが各学年にいるので保護者に啓発していかなければならない。